

特設展

一葉さん、

ひ ぐち いち よう
模型と写真で再現する樋口一葉の世界

おじやまします

樋口一葉が24歳で亡くなってから130年。

一葉が暮らし、作品に描いた明治の家を訪ねてみませんか。



2026年 10月10日 土 ~ 12月13日 日



主な展示資料

- 樋のきざいくし
● 檜細工師三浦宏が制作した模型
小説「大つごもり」の舞台 山村家
小説「にぎりえ」の舞台 銘酒屋菊の井
一葉の本郷丸山福山町の家
- 田所美恵子が三浦宏の模型を撮影した
針穴写真 約40点
- 「大つごもり」「にぎりえ」未定稿など
一葉の直筆資料



針穴写真機で撮影した
菊の井の内部

撮影:田所 美恵子 針穴写真家

背景の文字は樋口一葉
「にぎりえ」未定稿部分

三浦 宏 (檜細工師 1926～2019)

東京浅草生まれ。祖父、父の技術を継承し、風呂桶制作のかたわら、江戸期の家屋や生活道具などを職人としての経験と時代考証に基づき再現。十分の一、二十分の一の縮尺で制作された作品は内部まで事細やかに表現され、人々の気配までが作品に取り込まれている。



三浦宏 作 一葉の終の棲家となった本郷丸山福山町(現在の文京区西片1丁目)の家 撮影 石崎幸治



三浦宏 作 本郷丸山福山町の家調度品 撮影 石崎幸治



樋口一葉 (1872～1896)

東京生まれ。両親は山梨県甲州市塩山の出身。短い生涯で「たけくらべ」「にぎりえ」など社会の底辺で生きる人々や、封建的な社会を生きる女性を描いた作品を残した。



樋口一葉「にぎりえ」未定稿
初めて菊の井に上がった客と主人公のお力とのやりとりが描かれている。



一葉の愛用品 左から笄(結った髪に挿す)、筋立(毛筋を整えるための櫛)、根掛け(髪を束ねた根元に付ける)

田所 美恵子 (針穴写真家)

東京生まれ。日本女子大学文学部英文学科卒業。1990年に渡仏。シャロン・スュール・ソーヌ市立ニセフォル・ニエプス美術館で針穴写真を学ぶ。以後、日本とフランスで展覧会、講演会やワークショップを多数開催。様々な媒体を通じ針穴写真の普及に努める。2005年に日本針穴写真協会を設立し、2006年から同協会会長。著書に『針穴のパリ』(2006年 河出書房新社)、共著に『一葉に逢いたくて』(2007年 河出書房新社)など。



田所美恵子 撮影 菊の井の内部



田所美恵子 撮影 「大つごもり」の主人公お峯の奉公先山村家の台所

関連イベント 参加無料 (10月25日をのぞく)

●講演会

10月17日(土)「針穴写真 一先祖返りの写真術」
講師:田所美恵子(針穴写真家)
時間:13:30～15:00
会場:研修室(定員70名)

●ギャラリートーク

11月8日(日)
解説:三浦佳子(三浦宏長女)
時間:①10:30～11:00 ②13:30～14:00
会場:展示室C(定員各10名)

◎電話または当館ホームページの「イベント」欄申込みフォームからお申し込みください。

ギャラリートークと年間文学講座はお電話のみの受付です。先着順で定員になり次第締め切りとなります。

●ワークショップ

10月18日(日)「かな文字で書く樋口一葉」
講師:天野白汀(書家)
時間:①10:00～11:30 ②13:30～15:00
会場:茶室素心菴(定員各10名)
※ご自身のかな用の筆がある場合はお持ちください。

10月25日(日)「つまみ細工で桜アクセサリーを作ろう」
講師:飯島薫(つまみ細工作家)
時間:13:30～15:30 材料費:500円
会場:研修室(定員20名 小学生以上)

●年間文学講座3

11月1日(日)
「樋口一葉の住んだ家と物語の家」
講師:保坂雅子(当館学芸員)
時間:14:00～15:10
会場:研修室(定員70名)

●閲覧室資料紹介

10月9日(金)～12月24日(木)
「樋口一葉の時代を楽しむ」
会場:1階閲覧室 入場無料
開室時間:9:00～19:00
(土・日・祝日は18:00まで)

【利用のご案内】

■開館時間

展示室 9:00～17:00(入室は16:30まで)
閲覧室 9:00～19:00(土・日曜・祝日は18:00まで)

■休館日

月曜日(10月12日、11月23日は開館)
10月13日(火)、11月24日(火)

【観覧料】

常設展観覧料でご覧いただけます。

一般 330円(260円)
大学生 220円(170円)※大学生は学生証を提示※()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金
次の方は無料
・高校生以下の児童・生徒(高校生は学生証提示)
・65歳以上(年齢が分かるものを提示)
・障害者とその介護者(障害者手帳を提示)
・11月20日(金)県民の日はどなたでも無料

文学館常設展・美術館コレクション展共通券
一般680円、大学生340円

【交通のご案内】

■電車・バス

JR中央本線 甲府駅より
・JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、30系統 貫川団地、35系統 大草経由韮崎駅、39系統 御勅使各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。(340円)
※当館ホームページの「お知らせ」からもバスの時刻表をご覧ください。
・タクシーで約15分

■車

中央自動車道
・甲府昭和インターチェンジより約10分
・双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用
中部横断自動車道
・白根インターチェンジより約20分 ※ETC専用



X(旧Twitter)
@bungakukan_ymns



Instagram
@yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館
ホームページ



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-5-35
TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032
https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/